高瀬川マップ

高瀬川 1614 年（慶長 19 年）開削記念
京都 2017 年版 kyoto city

高瀬川音楽祭 2017
～ TAKASEGAWA SOUNDSCAPE ～
音でつながる 「まち」がつながる
http://takasegawaongakusai.com

発行：高瀬川マップ作成委員会
協力：高瀬川開削 400 周年記念事業検討会議
高瀬川音楽祭実行委員会
2017/07-10000
この取組は、南区役所の平成 29 年度「みなみ力で応援る！区民応援事業」による補助金を活用しています。

京都市立銅駝美術工芸高等学校
元銅駝小学校
銅駝会館　銅駝史料館

●ワタナベ楽器店 京都本店

銅駝学区

ザ・リッツ・カールトン京都

●角倉馬場屋敷跡

交番

日本銀行京都支店

●角倉了以別邸跡

がんこ高瀬川二条苑

銅駝 高瀬川音楽祭
10 月 21 日（土）午後５時

押小路通

一之舟入　高瀬舟　二之舟入跡

京都市役所

●京都ホテル オークラ
●駐輪場

地下鉄 市役所前

三之舟入跡

●ソラリア西鉄ホテル京都

四之舟入跡

池田屋跡

三条通　三条小橋　木屋町通

瑞泉寺

ホテルリソル京都●

立誠学区

五之舟入跡
六之舟入跡
●駐輪場
七之舟入跡

立誠 高瀬川音楽祭
8 月 19 日（土）午後１時

元立誠小学校

角倉了以邸●
頭彫碑

●駐輪場
八之舟入跡

九之舟入跡

浜出所

錦市場

交番

阪急 烏丸

●（株）ヤリモ

四条通　阪急 河原町

京都マルイ

舟廻し跡

永松会館●

永松学区

画廊
高瀬川・四季 AIR

永松 高瀬川音楽祭
9 月 24 日（日）
午後２時、４時

京カフェ ひとこと
多奈加●

舟廻し跡

五条通

菊浜せせらぎまつり
10 月 22 日（日）
午前 11 時

五條會館●

開化堂

菊浜学区

ひと・まち交流館京都
元菊浜小学校

菊浜区民会館●

舟廻し跡

河原院跡

●にこみ屋
六軒

六条河原
処刑場跡

おでん
八千代●
●梅湯

●五条モール

●クリーニング
ひまわり

●山内任天堂

正面通　正面橋

市比賣神社●

松原通

渉成園
枳殻邸

●渉成小学校

内浜跡

●Kaikado Cafe

七条通

●七条仏所跡
●御土居移転跡
●戦後間市跡

高瀬川解説●

崇仁学区

2002 年国道 24 号線
拡幅のため流路変更

●松明殿稲荷

●非人小屋跡

塩小路通

平安都市中央郵便局

市立綾小路高校移転予定地●
●正行院
猿寺

崇仁船鉾保管庫●

交番

1914 年東海道線南へ移動のため流路変更
●桜田儀兵衛彫像　●柳原銀行記念資料館　●崇仁高瀬川保勝会
●銭座場跡　●崇仁隣保館跡　2023 年 京都市立芸術大学移転予定地

●下京いきいき
市民活動センター うるおい

●崇仁デイサービス

元崇仁小学校
●下京青少年活動センター
崇仁ビオトープ

JR 京都

JR 東海道線

崇仁 高瀬川音楽祭
10 月 28 日（土）午後３時

戦後間市跡

平清盛終焉推定地●
崇仁坊解説●

JR 奈良線

八条通

アバンティ

京都市水道局　誠気マッサージ●
（株）東洋医療ケア

元立王小学校

交番

●南図書館

山王学区

●映画朝日館跡

●地域福祉センター 希望の家
●京都市地域・多文化交流
ネットワークサロン

シアター E9 京都
予定地●

●北河原市営住宅
マンモス団地

●高瀬マーケット跡

●東九条市民文庫
マダンセンター

鴨川

九条通

元陶化小学校

●新宮神社

陶化学区

九条跨線橋
東山橋
映画バッチギ撮影の地●

●名物桜

宇賀神社●

●八千代座跡

交番　公園松ノ木町団地

●故郷の家
・京都

東九条音楽祭
11 月 26 日（日）午後２時

札ノ辻通

竹田街道

●長谷川部
文化・歴史・
交流の家

東松ノ木市営住宅●
松ノ木町 40 番地跡

十条通　陶化橋

●浜口染工跡

阪神高速 8 号京都線

市立伏見
工業高校
（全日制は移転）

京都府警察学校●

久世橋通
●元朝鮮第一初級学校

勧進橋

鴨　川

東高瀬川

●龍谷大学
深草キャンパス

藤田街道

東高瀬川

名神高速道路

七瀬川

近鉄・地下鉄
竹田

撞木町遊郭跡●

平伏見郵便局

●伏見インクライン

竹田街道

近鉄 伏見

疏水（伏見放水路）

丹波橋通

交番

伏見桃山城●

明治天皇
伏見桃山陵●

新高瀬川

旧高瀬川

疏水
（濠川）

伏見区役所●

南浜 高瀬川音楽祭
12 月 23 日（土・祝）
午後２時、４時

御香宮神社●

交番

大手筋通

伏見南浜学区

●伏見夢百衆

伏見南浜
●月桂冠大倉記念館　●小学校
●伏見十石舟

●伏見港公園

交番

京阪 中書島

外環状線

宇治川

京阪 観月橋

高瀬川音楽祭 2017
～ TAKASEGAWA SOUNDSCAPE ～

音でつながる 「まち」がつながる
http://takasegawaongakusai.com

8月19日（土） 午後 1:00 開場 立誠 高瀬川音楽祭 8月19日,20日 立誠夏まつり開催中。	会場：元立誠小学校（講堂）四条木屋町上ル西側 中京区蛸薬師通河原町東入備前島町310-2 第一部 オープニングイベント 開場：午後1:00 開演：午後1:30 入場無料 第二部「Aki-Ra Sunrise LIVE」 開場：午後2:45 開演：午後3:00 料金：3,000円（小学生以下無料） 定員：100名 ※夏まつりの500円分の金券付
9月24日（日） 午後 2:00, 4:00 永松 高瀬川音楽祭	会場：京カフェ ひとこえ 多奈加 下京区西木屋町通松原上ル 出演：行灯社（フルートと小さなハーブ） 北欧の伝承曲や日本の歌など。 料金：1ドリンク要注文。 定員：10名
10月21日（土） 午後 5:00（雨天中止） 銅駝 高瀬川音楽祭	会場：がんこ 高瀬川二条苑（高瀬川源流庭園） 中京区木屋町通二条下ル東生洲町４８４-６ 出演：岸本寿男（尺八），田中彬博（ギター） 料金：無料。 ※お席のご予約無しでもご入場いただけます。
10月22日（日） 午前 11:00 菊浜せせらぎまつり	会場：五條會館 下京区西高瀬川筋五条下ル平居町 料金：500円 定員：100名 出演者，多数。 主催：菊浜連合会・菊浜高瀬川保勝会
10月28日（土） 午後 3:00 崇仁 高瀬川音楽祭	会場：柳原銀行記念資料館前 （雨天の場合，崇仁船頭・曳山収蔵庫） 下京区下之町 6-3（河原町塩小路下ル東側すぐ） 出演：田中彬博（ギター），KOYUKI（ギター），京都市立芸術大学生 料金：無料 定員：60名
11月26日（日） 午後 2:00 東九条音楽祭	会場：故郷の家・京都 雲史ホール 南区東九条南松ノ木町 47（九条高瀬川下ル 300m） 出演：神倉辰侑（チェロ），原野尚起（ピアノ）， 京都市立芸術大学生 他多数。 料金：無料（カンパ制） 主催：東九条音楽祭実行委員会
12月23日（土・祝） 午後 2:00, 4:00 南浜 高瀬川音楽祭	会場：伏見夢百衆 伏見区南浜町２４７（京阪・中書島駅下車 徒歩 10 分） 出演：岸本寿男（尺八），鈴木潤（ピアノ） 料金：無料，喫茶席ご利用の際は１ドリンク要注文 びあびあコミュニティサポート合同会社との連携

「 高瀬川音楽祭 2017 ～ TAKASEGAWA SOUNDSCAPE ～」

京都の街中を流れる高瀬川は、400年前に角倉了以・素庵による開削から約300年間、二条から伏見への京の水運を担ってきました。

大正時代に入り運河としての役割を終えた後も高瀬川沿いの町衆によってまもられ、今日では桜や柳が美しい名所として人々の憩いの場となっています。

2017年3月には、京都市より「京都駅東南部エリア活性化方針」が示され、2023年の京都市立芸術大学の崇仁学区への移転、東九条地域の「若者」と「アートの実践」による活性化の方針が打ちだされました。

古くから時代の変化の潮流を捉え、京の文化の先端を担う拠点の一つでもあった高瀬川沿いのまちが、個性を持ちながら調和する「芸術交流文化圏」となって、文化芸術都市・京都のさらなる発展に寄与することを願い、「高瀬川音楽祭 2017 ～ TAKASEGAWA SOUNDSCAPE ～」を企画しました。

1　開催の趣旨・目的

2014年、高瀬川開削400年を機に、高瀬川沿いに住む人々が集まり始まった「高瀬川音楽祭」は『おとでつながる「まち」がつながる TAKASEGAWA SOUNDSCAPE』をコンセプトとして、高瀬川沿いの個性あるひとつひとつの「まち」で、そこに住む人々が、そのまちの持つ歴史的な建築や文化的な特色を生かした、音楽の催しを行います。

「高瀬川音楽祭」が高瀬川全体をつなぐ「表現と交流の場」となり、高瀬川とともに時代を超えてきたそれぞれの「まち」が持つ歴史・文化を再発見し、それを内外に発信し共有することで、

・まち同士の相互交流・連携による、相乗的な「まちづくり」の推進と、高瀬川沿いのまち全体の地域活性化
・高瀬川の景観保全・環境美化への啓蒙
・「高瀬川との共生」を軸とする、地域に根ざした音楽・芸術文化の醸成

を志向します。

2　開催概要

(1) 名称：高瀬川音楽祭 2017 ～ TAKASEGAWA SOUNDSCAPE ～
(2) 日時：平成２９年８月１９日～ １２月２３日
(3) 場所：二条から伏見までの高瀬川流域の各施設
(4) 概要：※左のページをご覧ください。
(5) 主催：高瀬川音楽祭２０１７実行委員会、高瀬川開削４００周年記念事務局
(6) 後援：京都市（申請予定）

3　問合せ先

高瀬川音楽祭 2017 実行委員会
メール takasegawaongakusai@gmail.com
ホームページ http://takasegawaongakusai.com

高瀬川音楽祭 ２０１７ 実行委員会
高瀬川開削 400 周年記念事務局

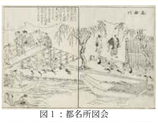


図１：都名所図会

図２：一之舟入

図３：清流園

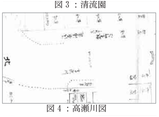


図４：高瀬川図

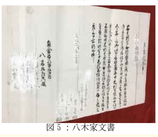


図５：八木家文書

高瀬川の開削と角倉家の３つの精神

京都の木屋町を南北に流れる高瀬川。今は静かに流れるこの小さな川は、江戸時代に角倉了以（すみのくら りょうい）と その息子素庵（そあん）によって築かれた運河で、300年もの間、京都の物流の大動脈でした。（図１：都名所図会）高瀬川の名は、浅瀬でも運行できる底の平たい高瀬舟から来ています。

今から 400 年前、了以と素庵は、政治の中心が江戸に遷り、京都が衰退することを憂念して高瀬川運河を築きました。金融業で築いた財を元に、海外貿易で得た先進の知識と技術を使い、保津川（桂川）、富士川、天竜川、鴨川と次々に名立たる河川を開削し、舟運を開きました。そして高瀬川の開削は 150 後門もの和財を投じた大事業でした。高瀬川は「水運の父」了以の集大成でした。残念ながら了以は高瀬川完成の直前に亡くなってしまいますが、素庵がこれを継承し、角倉家は大いに繁栄しました。

高瀬川は木屋町二条を起点に伏見まで流れています。当時伏見は、淀川で大阪と繋がる交通の要衝で、船場（せんば）として栄えていました。大阪から伏見に到着した荷物は、京都まで 10km あまりを人馬で運ばれていましたが、高瀬川によって大阪と京都は水運で繋がりました。海のない京都に港ができたのです。荷物の揚げ降ろしは、高瀬川に垂直に造られた舟入（ふないり）で行われました。舟入は三条から四条までの間に９つあります。現存するのは木屋町二条にある一之舟入（いちのふないり）の、国の名勝史跡となっています。（図２：一之舟入）最盛期は 160 艘の高瀬舟が運行し、１日 300 トンもの荷が京都に運ばれました。角倉家は高瀬舟に通船料を課し事業としました。現代でいえば有料道路事業です。年間の利益は 20 後門ともいわれます。事業としたことで、高瀬川はその後も大幅に改良整備され、木屋町は京都経済の中心地となりました。

角倉の屋敷は高瀬川起点木屋町二条に、上屋敷と下屋敷の馬場屋敷、樋文口屋敷の３つありました。上屋敷は本邸で、通船料を管理する役宅にもなっていました。馬場屋敷には家人が住んでいました。樋文口屋敷は、高瀬川の水量の管理する役宅でした。上屋敷は現在、日本銀行京都支店と京都銀行協会となり、屋敷は庇石と共に二条城に移築され清流園となっています。（図３：清流園）馬場屋敷は現在、ザ・リッツカールトンホテルとなっており、高瀬川延長の遺構も残されています。樋文口屋敷は現在、がんこ高瀬川二条苑となっており、屋敷内に高瀬川源流が流れています。高瀬川の水は、鴨川からみそそぎ川を通じて屋敷内に取り入れられ、源流の石の隙れ具合で水量を調節したといいます。

角倉家の事業には「共生」・「挑戦」・「慈悲」の３つの精神があります。「共生」とは、「他人に損失を与えてまで、自分に利益を得ようとしない」ということです。「挑戦」は、単なる試みでなく、先進的・創造的・計画的という特長があります。「慈悲」は仏教用語ですが、「愛、仁、思いやり、寛容、責任」といった広い概念を表しています。これら３つの精神は、それぞれ独立したものではなく、互いに関係し合ってバランスが保たれています。まさに了以と素庵の生き様そのものです。明治維新で幕府に近い角倉家は半ば解体されて、全国に散り散りになってしまいましたが、角倉精神は子孫に受け継がれ、今も各地各方面で活躍しています。

角倉宗家十七代当主　角倉 吾郎

自転車は決められた場所や駐輪場に置きましょう

STOP! 放置自転車
一般財団法人京都市都市整備公社

RESOL ホテルリソル京都 河原町三条
HOTEL RESOL KYOTO KAWARAMACHIESANJO
2018年6月 OPEN（予定）
"くつろぎ"のホテルリソルチェーン HOTEL RESOL ホテルリソル

おこしやす 鴨川河畔の旅荘へ
ソラリア西鉄ホテル京都プレミア
三条鴨川
TEL:075-708-5757
http://nnr-h.com/solaria/kyoto_p/

あたらしい、あたりまえを。
marimo
株式会社マリモ

Since 1888
京都ホテルオークラ
京都市中京区河原町御池 TEL.075-211-5111
http://okurakyotohotel.co.jp/

ホカノ ひとこえ 多奈加
京都市下京区西木屋町通松原上る
清水町545
電話でご予約・お問い合わせ
070-5664-2357 ※水曜定休
FAX.075-341-3591

京都 七条堀川
すみのくら
URL: suminokorua.com
FAX: 075-351-4936
◯ 角倉宗家十七代当主 角倉吾郎 講演会の開催
◯ 角倉関連商品の企画・製造・販売
◯ 角倉関連イベントの企画・運営
◯ 角倉関連書籍の出版

Kaikado Café
『河原町七条』（南行き）バス停前
Tel 075-353-5668

musical instruments Watanabe
京都本店 075-231-2778
音楽教室 075-231-2951
京都ジョルノ 075-256-0238
FAX 075-256-0238 京都市中京区御池上ル
ワタナベ楽器店

クリーニング ひまわり
有限会社 京洗舎
業務用大量注文応じます。
本社電話：075-371-1944
下京区東本願寺正面上ル

おでん ハヤベ
営業時間
午後六時半あたりから
十一時
ラストオーダー十一時半
定休日 木曜日
すき焼 ハヤベ
京都市下京区五条通烏丸東入ル
TEL 075-371-2011
FAX 075-371-2012
定休日 毎週日曜日

にしふな本舗
京都市下京区五条通烏丸東入ル
TEL 075-371-2011
FAX 075-371-2012
定休日 毎週日曜日

株式会社 カトリック京都司教区カリタス会
京ビアッサーズ うるおい
〒600-8207 京都市下京区五条烏丸西入
TEL(075)371-2011 FAX(075)371-2012
☎(075)342-2668
FAX(075)371-1933

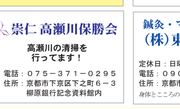
崇仁 高瀬川保勝会
高瀬川の清掃を行ってます！
電話：075－371－0295
住所：京都市下京区下之町６－３
柳原銀行記念資料館内

鍼灸・マッサージ
(株)東洋医療ケア
定休日：日曜日、祝日
電話：090－5015－8952
住所：京都市南区東九条西新田町16-1
身体とこころの癒しとまちづくりのセラピスト

サウナの極湯
営業時間 大幅延長(6・9月)！定休日：木曜
14時～26時
土・日 朝風呂やってます！
6時～12時
★シャンプー・ボディソープ無料！
詳しくはツイッターを！@umeyu_rakuen

みそそぎ川開口部
鴨川丸太町下ル・市立御舵美術工芸高校東

高瀬川取水口
鴨川二条下ル


東高瀬川の疏水合流部
伏見区景勝町

旧高瀬川最北部
新高瀬川丹波橋通東詰

高瀬川源流庭園
がんこ 高瀬川二条苑（木屋町通二条下ル）

元立誠小学校
中京区蛸薬師通河原町東入備前島町 310-2
四条木屋町上ル西側

旧高瀬川の角倉橋
伏見区三栖半町

旧高瀬川の疏水合流部
伏見区三栖半町１丁目

五條會館
下京区西高瀬川筋五条下ル平居町

柳原銀行記念資料館
下京区下之町 6-3

高瀬川の鴨川合流部
陶化橋（鴨川九条）上ル

東高瀬川開口部
陶化橋（鴨川九条）東詰上ル

新高瀬川の七瀬川合流部
伏見区深草加賀屋敷町

疏水七瀬川くぐり
疏水大岩街道下ル

高瀬川の歴史と高瀬川保勝会

高瀬川が約 400 年前の慶長 19(1614) 年に角倉了以・素庵によって開削され、大正のはじめまで、約 300 年間、京都市内と伏見間の水運として利用されました。

しかし、明治 27(1894) 年の琵琶湖疏水（鴨川運河）の完成にともなって、輸送物資量は大幅に減少してしまいました。

高瀬川保勝会の歴史は、大正 6(1917) 年に二条船溜まり、今の「一ノ船入」の埋め立て計画に反対する「高瀬川保存同盟会」の設立に始まります。

大正 9(1920) 年に水運が廃止されることになり、高瀬川にふたをして木屋町通に路面電車を通す「暗渠化計画」が、京都市で検討されました。

その大正 8(1919) 年の高瀬川暗渠化計画の反対にあたり、「高瀬川保存会」と名称を改め、反対の声を上げ、その結果、路面電車の木屋町線を拡幅する工事は、河原町通に変更され、昭和 9(1934) 年、「一ノ船入は国史跡」に指定されました。

昭和 34(1959) 年には、西区、高瀬川暗渠化・駐車場化が論争されました。

「高瀬川保存会」は、昭和 20(1945) 年に「高瀬川保勝会」に名称を変更したのち、昭和 61(1986) 年に銅駝、立誠、永松の各保勝会に分かれました。

このような保勝会の歴史の中で、平成 16(2004) 年８月に菊浜高瀬川保勝会が設立され、400 周年を翌年に迎える平成 25(2013) 年に、銅駝、立誠、永松、菊浜の４学区で、高瀬川一斉清掃をはじめました。

そして、平成 26(2014) 年に、４学区で 400 周年記念事業を開催するとともに、菊浜で記念式典と高瀬川音楽祭を開催しました。401 年目は、途切れ途切れではありますが、二条から伏見までつなげ、402 年目には、東九条に参加していただき、開催エリアを年々拡大させてきました。

そして、2017 年、403 年目の今年は、崇仁、東九条が高瀬川一斉清掃参加され、さらに、崇仁高瀬川保勝会の設立という、保勝会の歴史として新たな一歩となりました。

この 400 年続いた高瀬川を、このさきまた 400 年残すため、「高瀬川との共生」を理念とし、高瀬川の流れを護り、そして、高瀬川の景観を保ち、さらに、環境にやさしいまちをめざし、「美しいまちをつくり、そのまちを永く後世に伝えるため、広く「環境」をキーワードに、高瀬川一斉清掃などの取り組みを展開してまいります。